

地域食育連携協働事業報告（西区）

連 携 先	名古屋文理大学短期大学部
取 組 の 名 称	子ども食育教室
実 施 時 期	① 平成 30 年 8 月 6 日（月） ② 平成 30 年 8 月 24 日（金）
取 組 内 容	<p><b>【目的】</b> おやつの適切な摂り方</p> <p><b>【対象者と参加人数】</b> 区内学童保育クラブ児童 ① 30 名 ② 38 名</p> <p><b>【実施内容】</b> 子どもたちに食べることの大切さを直接伝えるために学童保育クラブで栄養士養成施設の学生と連携し食育教室を実施しました。 保健センターから食べ物の栄養や体でのほたらきを伝えました。 学生からはクイズ形式でおやつの適切な摂り方を伝えました。 その後自分で作ることができるおやつの実習を一緒に行いました。</p>
	

## 地域食育連携協働事業報告（西区）

連 携 先	名古屋文理大学短期大学部
取 組 の 名 称	朝食を考える
実 施 時 期	平成 30 年 9 月 7 日（金）
取 組 内 容	<p><b>【目的】</b> 朝食の内容をみなおして、栄養バランスの良い食生活につなげる</p> <p><b>【対象者と参加人数】</b> 山田高校 1 年 A 組 40 名と F 組 36 名</p> <p><b>【実施内容】</b> 西区で実施したアンケート結果で朝食の現状と課題を説明後、短大生をファシリテーターとする高校生のグループワークを実施。 テーマ 各自の朝食内容について栄養バランスをチェックすることと理想的な朝食を皆で考える</p> <p>グループワークは高校生 5 人に対し短大生は 1 人で運営しました。6 つの基礎食品の図版を用いて朝食チェックをしてもらいました。理想的な朝食は、話し合いの結果、ご飯とおかず、トーストとおかず、サンドイッチと飲みものというように生徒の日常に近いものが提案されました。</p>



## 地域食育連携協働事業報告（西区）

連 携 先	株式会社伊藤園
取 組 の 名 称	お茶を考える
実 施 時 期	平成 30 年 10 月 30 日（火）
取 組 内 容	<p><b>【目的】</b> 日頃、何気なく飲んでいるお茶の効用とお茶の入れ方を学び、そこで得た知識を家族や周りの方にも広める。</p> <p><b>【対象者と参加人数】</b> 西陵高校 3 年生 栄養選択の生徒 30 名</p> <p><b>【実施内容】</b> お茶の伊藤園から講師を派遣してもらい、講義及びお茶を入れる実習を行ない、飲み比べなどをしました。 お茶の歴史、種類や特色などを学びました。実習では、茶葉を急須に入れ、氷と水で出す冷茶、適温の 80 度で出す温茶の入れ方とポイントを 2 人 1 組で行ないました。ペットボトルでお茶を飲むことが当たり前になっていた生徒には、香りや味の違いを感じるだけでなく、その所作にも、新鮮なことが多かったようです。</p>

